

路盤材材料試験結果報告書

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：クラッシャーラン（C-25）山砕

材料産地：東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内

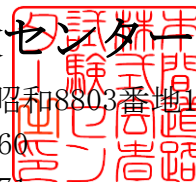
令和6年3月

本間道路株式会社 試験センター

〒959-1604 新潟県五泉市論瀬字昭和8803番地

TEL：0250-42-5560

FAX：0250-47-7071



試験概要

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：クラッシャーラン（C-25）山砕

材料産地：東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内

試験期間：自 令和 6 年 2 月 26 日
至 令和 6 年 3 月 13 日

試験内容：試験内容は以下のとおりである。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1) 骨材のふるい分け試験 | …………… JIS A 1102 |
| 2) 粗骨材の密度および吸水率試験 | …………… JIS A 1110 |
| 3) ロンベール機による粗骨材のすり減り減量試験 | …………… JIS A 1121 |
| 4) 土の液性限界・塑性限界試験 | …………… JIS A 1205 |
| 5) 突固めによる土の締固め試験 | …………… JIS A 1210 |
| 6) 修正CBR試験 | …………… 舗装調査・試験法便覧 |

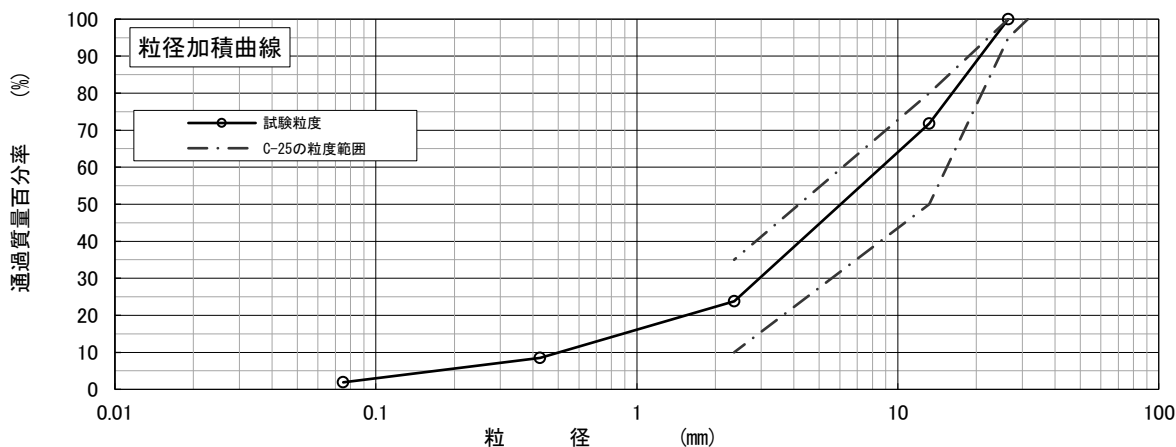
試験会社：本間道路株式会社 試験センター

整理担当者：金田 透 

路盤材材料試験結果一覧表

材 料 名 : クラッシャーラン (C-25) 山砕 試験年月日 : 2024年3月13日
 用 途 : 下層路盤 整理担当者 : 金田 透

	試 験 項 目	試 験 規 格	試 験 値	規 格 値	
一 般	含水比 (搬入時) (%)	JIS A 1203	—		
	密度・ 吸水率	表 乾 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1109 JIS A 1110	2.67	
		か さ 密 度 (g/cm ³)		2.65	
		見 掛 密 度 (g/cm ³)		2.72	
		吸 水 率		1.02	
	コン シス テン シー	液 性 限 界 (%)	JIS A 1205	N.P	
		塑 性 限 界 (%)		N.P	
		塑 性 指 数		N.P	6以下
		すり減り減量 (%)	JIS A 1121	11.8	
		損 失 量 (%)	JIS A 1122	—	
	異 物 混 入 率 (%)	※1	—		
粒 度 特 性	通 過 質 量 百 分 率 (%)	53 (mm)			
		37.5			
		31.5		100	
		26.5	100.0	95 ~ 100	
		19			
		13.2	71.8	50 ~ 80	
		4.75			
		2.36	23.8	10 ~ 35	
		0.425	8.5		
		0.075	1.9		
締 固 め 特 性	試 験 方 法		E-b法		
	最 大 乾 燥 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1210	2.054		
	最 適 含 水 比 (%)		5.2		
	修 正 C B R (%)	舗装調査・試験法便覧	64.5	20以上	



備考) ※1 コンクリート系・アスファルト系再生材利用の手引き(案)

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験
------------	-------------------

調査名・目的 路盤材材料試験	試験年月日 2024年2月28日
試料番号 クラッシャーラン(C-25)山砕	使用場所 本間道路(株)試験センター
試料採取場所 東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内	試験者 金田 透

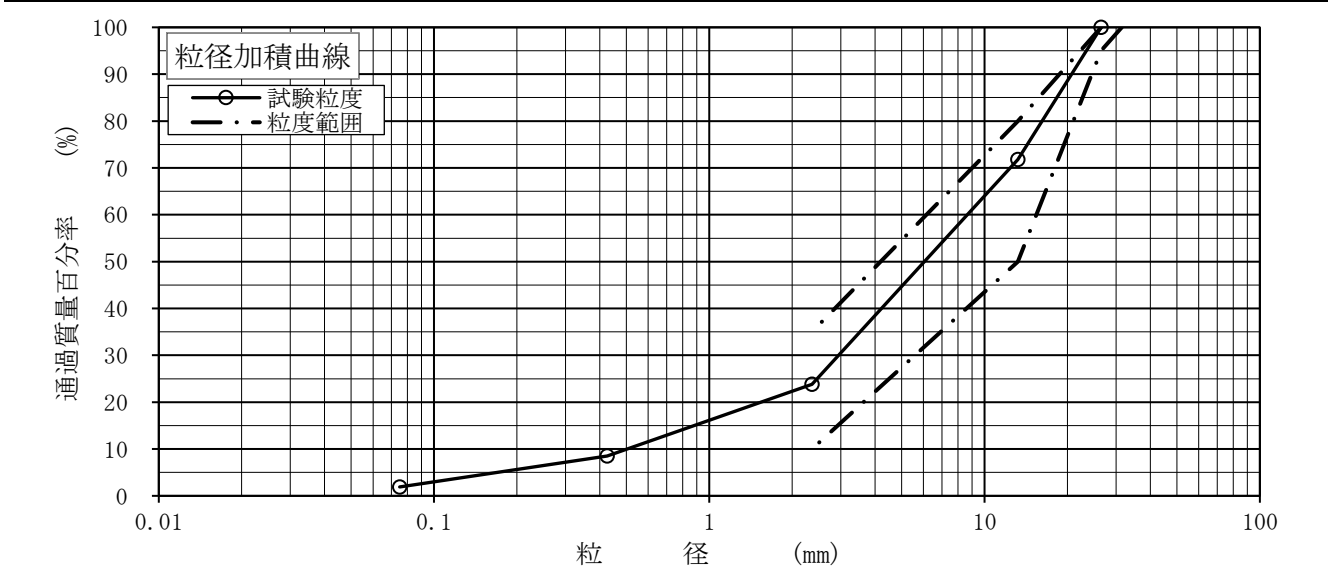
(全試料+容器)質量	9863.7 g	(2.36mm通過試料+容器)質量	810.7 g
容器質量	— g	容器質量	— g
全試料質量	9863.7 g	2.36mm通過試料質量	810.7 g
2.36mm残留試料質量	7513.5 g	全試料に対する2.36mm通過試料の割合	23.827 %

2.36mmふるい残留試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)
75					
53					
37.5					
* 31.5					
* 26.5			0.0	0.0	100.0
19					
* 13.2			2783.2	28.2	71.8
9.5					
4.75					
* 2.36			7513.5	76.2	23.8

2.36mmふるい通過試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料+容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	全試料に対する通過質量百分率 (%)
1.18						
0.6						
0.425			520.5	64.2	35.8	8.5
0.3						
0.15						
0.075			745.4	91.9	8.1	1.9



JIS A 1110	粗骨材の密度および吸水率試験
------------	-----------------------

試料番号	路盤材 (C-25) 材料試験	試験年月日	2024年2月29日
試料産地	東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内	試験者	金田 透

試験時の水温 20 °C 骨材の最大寸法 13.2 mm

試験水温時の水の密度 $\rho_w = 0.9982$ g/cm³

測定番号	1	2	3	4
① 表乾試料+容器質量 (g)	3186.3	3296.2		
② 容器質量 (g)	870.5	868.4		
③ 表乾試料質量 (g)	①-②	2315.8	2427.8	
④ (かご+試料)水中質量 (g)	1450.7	1520.4		
⑤ かごの水中質量 (g)	0.0	0.0		
⑥ 試料の水中質量 (g)	④-⑤	1450.7	1520.4	
⑦ 表乾密度 (g/cm ³)	③・ ρ_w / (③-⑥)	2.67	2.67	
平均値	2.67			
⑧ 乾燥後の試料質量 (g)	2292.7	2403.3		
⑨ かさ密度 (g/cm ³)	⑧・ ρ_w / (③-⑥)	2.65	2.64	
平均値	2.65			
⑩ 見掛密度 (g/cm ³)	⑧・ ρ_w / (⑧-⑥)	2.72	2.72	
平均値	2.72			
⑪ 吸水率 (%)	(③-⑧) / ⑧ × 100	1.01	1.02	
平均値	1.02			

備考

JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすり減り試験
------------	------------------------

調査名 : 路盤材材料試験	試験年月日 : 2024年3月7日
試料番号 : クラッシャーラン(C-25)山砕	試験場所 : 本間道路(株) 試験センター
試料採取場所 : 東蒲原郡阿賀町 谷沢 地内	試験者 : 金田 透
骨材の種類 : 砕石	鋼球の数 : 8 個
粒度区分 : 13.2mm~4.75mm	鋼球の質量 : 3332 g
試料質量 : 5000.0 g	回転数 : 500 回

ふるい目の開き (mm)	試験前の粒度			試験後の粒度						
	累加残留質量 (g)	累加残留質量百分率 (%)	通過質量百分率 (%)	1			2			
				累加残留質量 (g)	累加残留率 (%)	通過率 (%)	累加残留質量 (g)	累加残留率 (%)	通過率 (%)	
63										
53										
37.5										
31.5										
26.5										
19										
13.2	0.0	0.0	100.0							
9.5										
4.75	5000.0	100.0	0.0							
2.36										
1.7										

すり減り試験結果

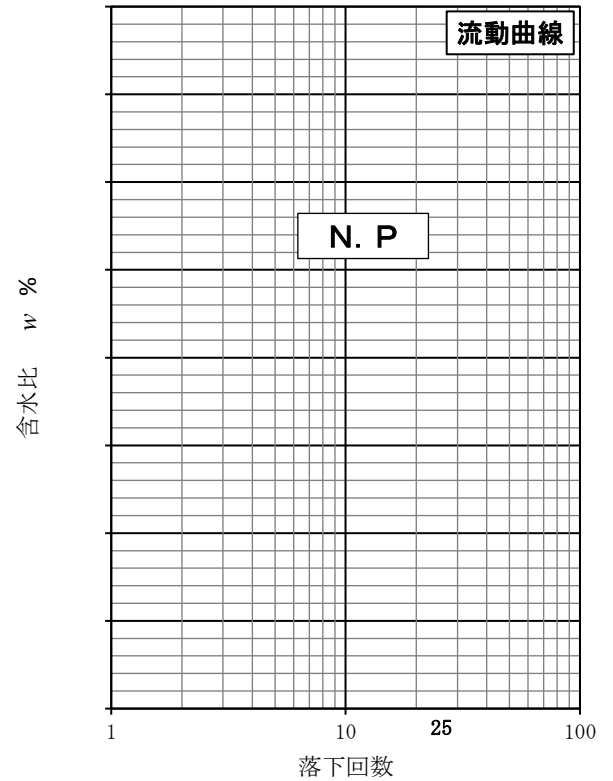
測定番号	1	2
① 試験前の試料質量 (g)	5000.0	5000.0
② 試験後の試料質量 (g)		
③ 1.7mmふるい残留物の水洗い後の質量 (g)	4413.2	4402.8
④ すり減り損失質量 (g)	①-③	586.8
⑤ すり減り減量 (%)	④/①	11.7
⑥ 平均値	11.8	

調査件名 路盤材材料試験

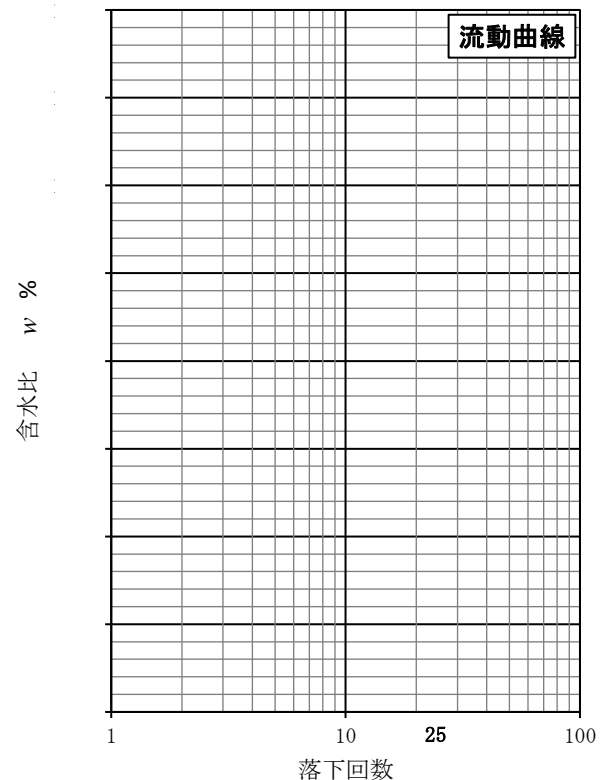
試験年月日 2024年2月28日

試験者 金田 透

試料番号(深さ)		クラッシャーラン(C-25)山砕	
液性限界試験			
落下回数			
含水比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
溝切り不可,測定不能			
落下回数			
含水比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
塑性限界試験			
含水比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
ひも状にならず測定不能			
液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p	
N. P	N. P	N. P	



試料番号(深さ)			
液性限界試験			
落下回数			
含水比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
落下回数			
含水比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
塑性限界試験			
含水比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p	



特記事項

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 1日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)山砕

試験者 金田 透

試験方法		E-b	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法	ランマー質量 kg	4.5	モ ー ル ド	内径 cm	15
試料の使用方法		非繰返し法	落下高さ cm	45		高さ ¹⁾ cm	12.5
含水比	試料分取後 ω ₀ %		突固め回数 回/層	92		容量 V cm ³	2209
	乾燥処理後 ω ₁ %		突固め層数 層	3	質量 m _l ²⁾ g	3856	
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド)質量 m ₂ ²⁾ g		8391	8461	8538	8605		
湿潤密度 ρ _t g/cm ³		2.053	2.085	2.120	2.150		
平均含水比 ω %		2.2	3.0	3.9	4.8		
乾燥密度 ρ _d g/cm ³		2.009	2.024	2.040	2.052		
含水比	容器 No.	226	207	241	224		
	m _a g	5099.5	5165.3	5275.1	5315.1		
	m _b g	5004.1	5031.6	5102.0	5096.3		
	m _c g	569.3	569.0	606.2	580.4		
	ω %	2.2	3.0	3.9	4.8		
比	容器 No.						
	m _a g						
	m _b g						
	m _c g						
	ω %						
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド)質量 m ₂ ²⁾ g		8645	8629				
湿潤密度 ρ _t g/cm ³		2.168	2.161				
平均含水比 ω %		5.7	6.7				
乾燥密度 ρ _d g/cm ³		2.051	2.025				
含水比	容器 No.	233	212				
	m _a g	5349.8	5324.3				
	m _b g	5094.7	5024.7				
	m _c g	580.8	576.0				
	ω %	5.7	6.7				
比	容器 No.						
	m _a g						
	m _b g						
	m _c g						
	ω %						

特記事項

- 1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + \omega / 100}$$

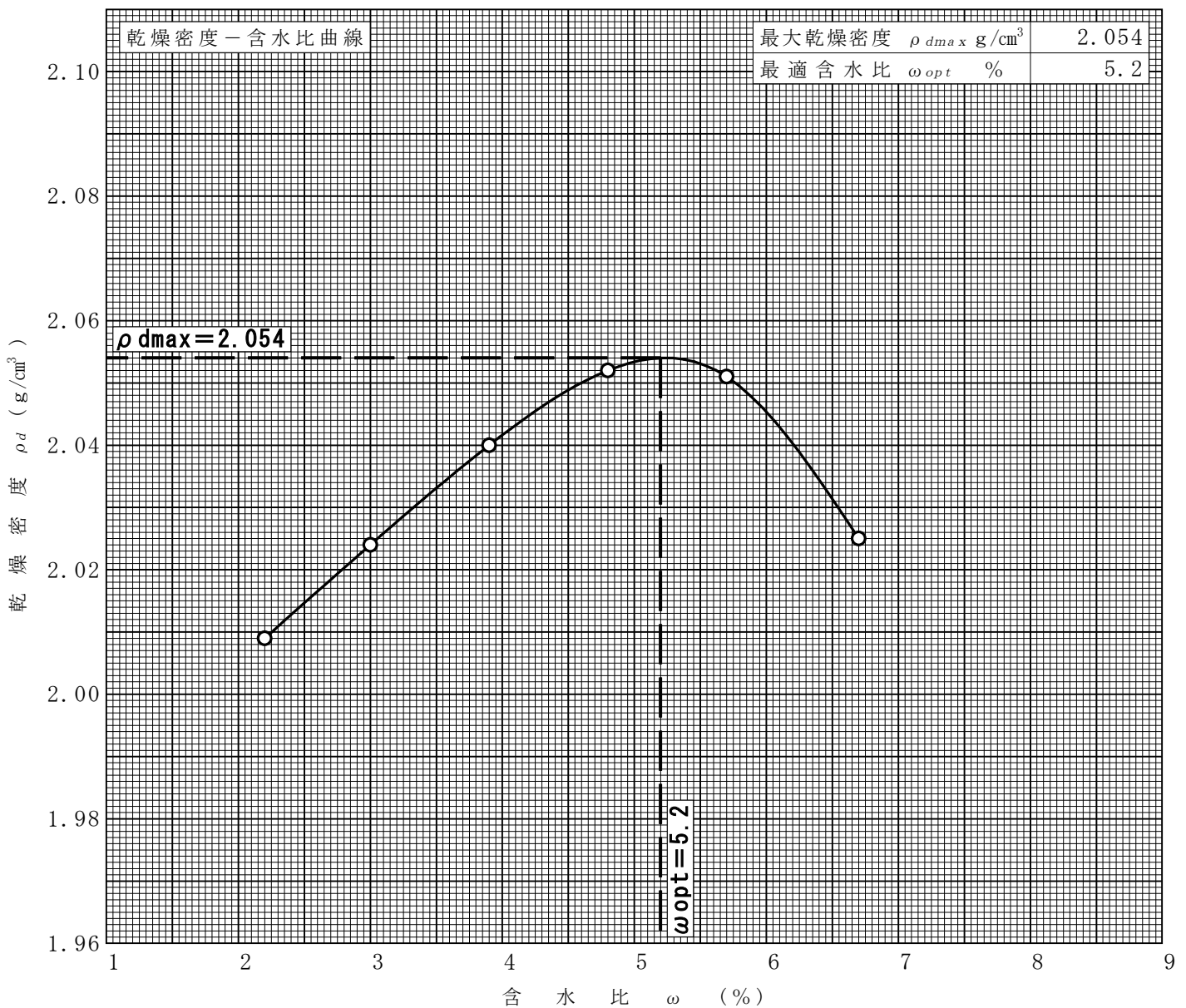
調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 1日

試験番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)山砕

試験者 金田 透

試験方法	E-b		土質名称					
試験の準備方法	乾燥法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			
試験の使用方法	非繰返し法		落下高さ cm	45	試験調整前の最大粒径 mm		26.5	
含水比	試験分取後 ω_0 %			突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 ω_1 %			突固め層数 層	3		高さ ¹⁾ cm	12.5
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 ω %	2.2	3.0	3.9	4.8	5.7	6.7		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.009	2.024	2.040	2.052	2.051	2.025		



特記事項

1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho \omega}{\rho \omega / \rho_s + \omega / 100}$$

調査件名 路盤材材料試験 試験年月日 2024年 3月 4日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)山砕 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	92	最適含水比 ω_{opt} %	5.2	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.054	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	141	132					
	m_a g	1403.7	1462.4					
	m_b g	1346.3	1403.7					
	m_c g	288.7	277.7					
	ω_1 %	5.4	5.2					
平均値 ω_1 %		5.3		5.3		5.3		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{(2)}$ g	11553		11670		11646		
	モールド質量 $m_l^{(2)}$ g	6785		6910		6848		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.158		2.155		2.172		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.049		2.047		2.063		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		0	0.00	0	0.00	0	0.00
(試料+モールド)質量 $m_3^{(2)}$ g	11700		11831		11802			
膨張比 γ_e %	0.000		0.000		0.000			
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³	2.225		2.228		2.243			
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	2.049		2.047		2.063			
平均含水比 ω' %	8.6		8.8		8.7			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 8日

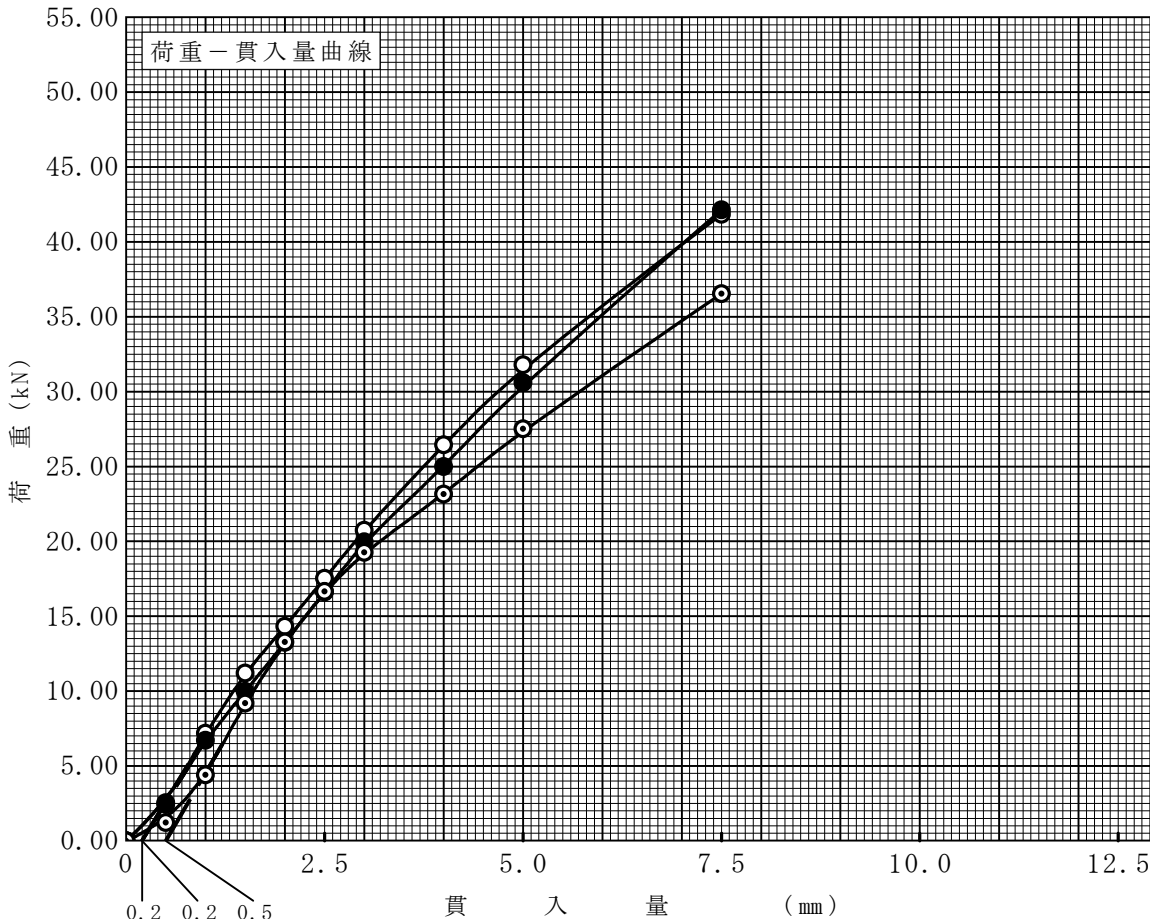
試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)山砕

試 験 者 金 田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	92	自然含水比 ω_n %	
試験条件	水浸	突固め層数 層	3	最適含水比 ω_{opt} %	5.2
養生条件	日空气中	モールド	内径 cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾ cm	12.5	

供 試 体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	5.3	5.3	5.3
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.049	2.047	2.063
	後	膨張比 γ_e %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 ω' %	8.6	8.8	8.7
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	2.049	2.047	2.063
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		140.4	133.9	142.9
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		162.4	157.3	146.8
	C B R %		162.4	157.3	146.8

平均 C B R %
155.5



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

	貫入量 mm	2.5	5.0
荷 重	供試体 No. 1	18.815	32.318
	供試体 No. 2	17.945	31.306
	供試体 No. 3	19.145	29.207
	標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 4日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)山砕

試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %	
試料準備	準備方法	空気乾燥法	突固め回数 回/層	42	最適含水比 ω_{opt} %
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15
				高さ ¹⁾ cm	12.5
			荷重板質量 kg	5.0	
			モールド容量 V cm ³	2209	

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	110	123					
	m_a g	1393.5	1392.8					
	m_b g	1339.5	1337.9					
	m_c g	285.6	274.0					
	ω_1 %	5.1	5.2					
平均値 ω_1 %		5.2		5.2		5.2		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11515		11517		11430		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6873		6913		6816		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.101		2.084		2.089		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.997		1.981		1.986		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		3	0.03	2	0.02	3	0.03
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g	11714		11718		11626			
膨張比 γ_e %	0.024		0.016		0.024			
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³	2.191		2.175		2.177			
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.997		1.981		1.986			
平均含水比 ω' %	9.7		9.8		9.6			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 8日

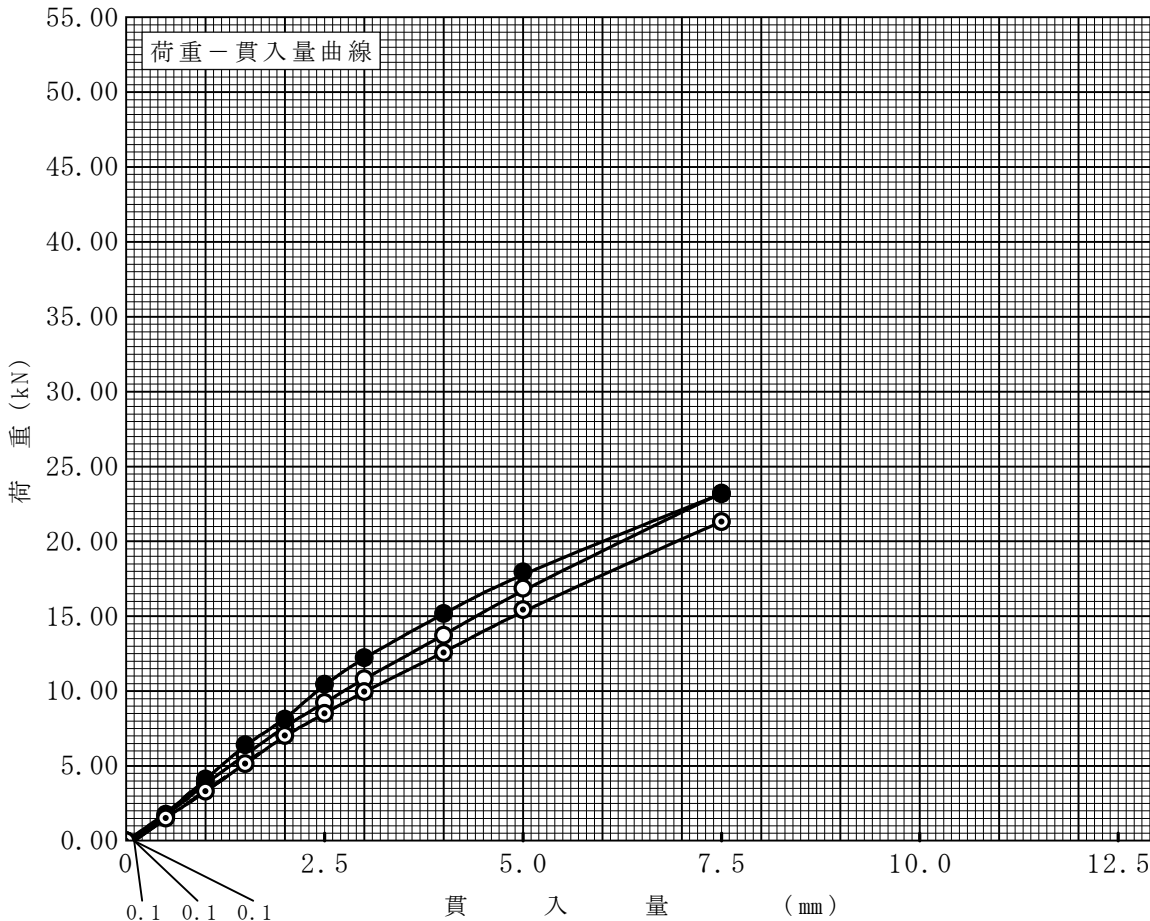
試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)山砕

試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	空気乾燥法	突固め回数 回/層	42	自然含水比 ω_n %	
試験条件	水浸	突固め層数 層	3	最適含水比 ω_{opt} %	5.2
養生条件	日空气中	モールド	内径 cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾ cm	12.5	

供試体 No.		1	2	3	
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	5.2	5.2	5.2
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.997	1.981	1.986
	後	膨張比 γ_e %	0.024	0.016	0.024
		平均含水比 ω' %	9.7	9.8	9.6
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.997	1.981	1.986
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %	71.3	80.5	65.6	
	貫入量5.0mmにおけるCBR %	85.3	90.4	78.1	
	C B R %	85.3	90.4	78.1	

平均 C B R %
84.6



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

	貫入量 mm	2.5	5.0
荷重	供試体 No. 1	9.551	16.970
	供試体 No. 2	10.789	17.995
	供試体 No. 3	8.796	15.547
	標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 4日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)山砕

試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称		
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %		
試料準備	準備方法	空気乾燥法	突固め回数 回/層	17	最適含水比 ω_{opt} %	5.2
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.054
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド 内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	128	135					
	m_a g	1343.7	1405.9					
	m_b g	1290.6	1349.2					
	m_c g	286.8	288.3					
	ω_1 %	5.3	5.3					
平均値 ω_1 %		5.3		5.3		5.2		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{(2)}$ g	11255		4425		11267		
	モールド質量 $m_l^{(2)}$ g	6845		2		6827		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	1.996		2.002		2.010		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.896		1.901		1.911		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		7	0.07	8	0.08	4	0.04
(試料+モールド)質量 $m_3^{(2)}$ g	11482		4653		11508			
膨張比 γ_e %	0.056		0.064		0.032			
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³	2.098		2.104		2.118			
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.895		1.900		1.910			
平均含水比 ω' %	10.7		10.7		10.9			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 8日

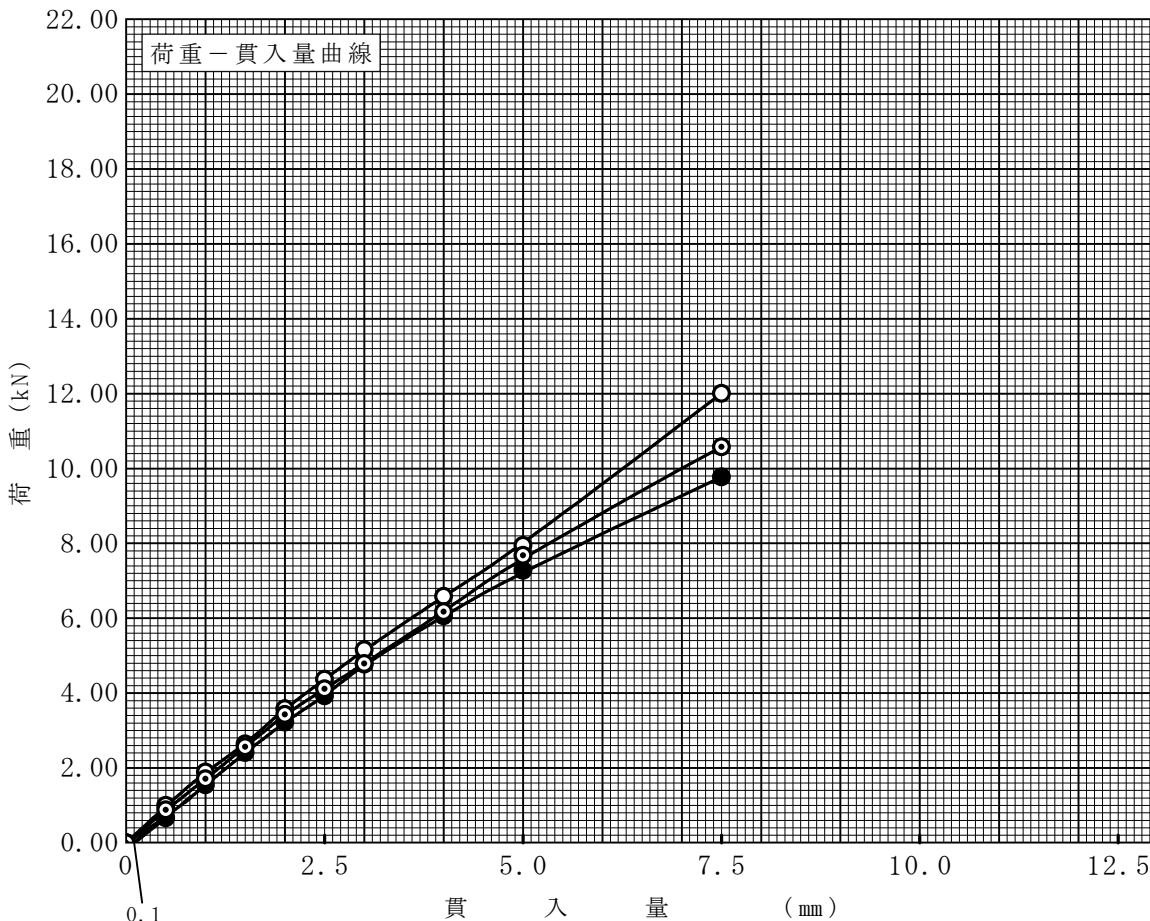
試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)山砕

試 験 者 金 田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称		
突固め方法	修正CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%	
試料の準備方法	空気乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 ω_n	%	
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%	
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾	cm	12.5		

供 試 体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1	5.3	5.3	5.2
		乾燥密度 ρ_d	1.896	1.901	1.911
	後	膨張比 γ_e	0.056	0.064	0.032
		平均含水比 ω'	10.7	10.7	10.9
		乾燥密度 ρ'_d	1.895	1.900	1.910
貫入試験	試験後の含水比 ω_2				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		32.6	30.6	30.7
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		40.3	36.8	38.1
	C B R %		40.3	36.8	38.1

平均 C B R %
38.4



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷 1 試体 No.	4.368	8.014
荷 2 試体 No.	4.104	7.322
荷 3 試体 No.	4.112	7.585
標準荷重 kN	13.4	19.9

修正 C B R 試 験

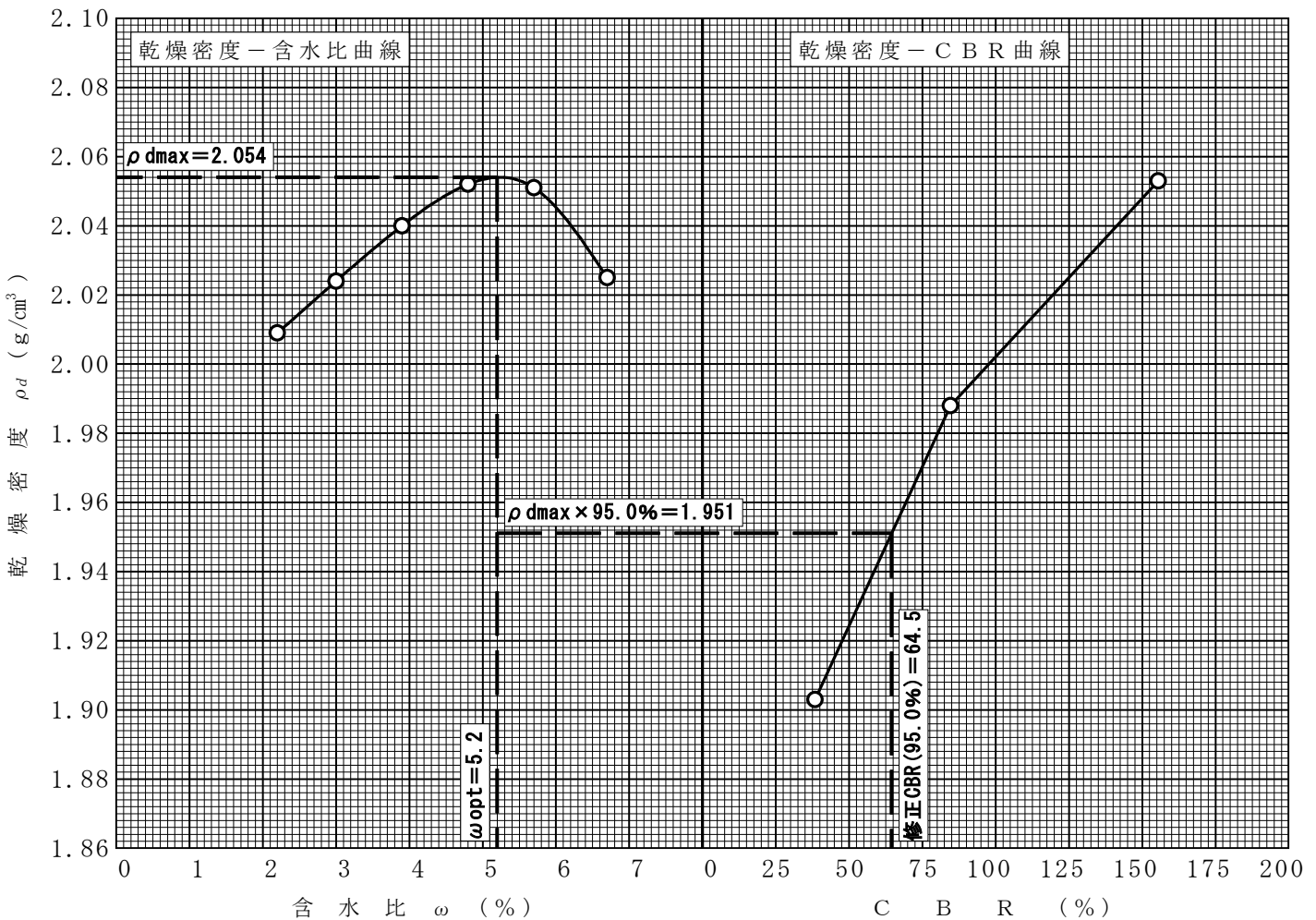
調査件名 路盤材材料試験

試験年月日 2024年 3月 11日

試料番号(深 さ) クラッシャーラン(C-25)山砕

試 験 者 金 田 透

供 試 体 No.	92-1, 2, 3			42-1, 2, 3			17-1, 2, 3		
突 固 め 回 数 回/層	92 (3 層)			42 (3 層)			17 (3 層)		
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³	2.049	2.047	2.063	1.997	1.981	1.986	1.896	1.901	1.911
平 均 値 ρ_d g/cm ³	2.053			1.988			1.903		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	140.4	133.9	142.9	71.3	80.5	65.6	32.6	30.6	30.7
平 均 値 %	139.1			72.5			31.3		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	162.4	157.3	146.8	85.3	90.4	78.1	40.3	36.8	38.1
平 均 値 %	155.5			84.6			38.4		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.054	締 固 め 度 %	95.0				
		最適含水比 ω_{opt} %	5.2	修正 C B R %	64.5				



特記事項